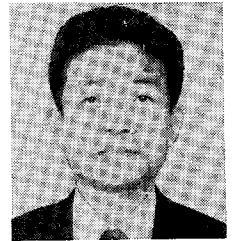




協体さあふじ

「藤沢市体育協会広報」第12号

発行日 平成元年7月5日
発行編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内



「21世紀をめざしての 生涯スポーツへの期待」

藤沢市社会教育部長 林 泰男

二十一世紀を間近かに控え、高令化、国際化、情報化、技術革新等、時代の流れが大きく変わりつつあり、そうした中で一番の問題は、日本の高令化のテンポがフランス、スウェーデンなどの長寿国が長い年月をかけて到達した高令化社会に対し、日本はきわめて短期間に到達するといわれており、西歴二〇二五年の老人人口比率は、二四・五%と推計され、スイスの二三・八%を上回る世界一の高令国になるといわれています。

又、技術革新の速度もはやく、それに加えて日本人は元来よく働らく国民といわれ、その結果が、世界有数の経済大国に発展し、国際収支においても大巾な貿易黒字を出し、これが日米の貿易摩擦を中心に日本に対する風当たりが強くなり、そのために内需主導型産業構造の変貌が進行してきています。

このような経済摩擦解消と、国際協調を推進する上から、国際的地位にふさわしい我が国の労働条件の整備の必要から、労働時間の短縮のた

め、国、地方公共団体においては、第二、第四土曜日を休みとし、金融機関については、二月から完全週休二日制を実施しており、企業においても週休二日制の導入が進んできています。

このように、休みが増えることによる余暇の過ごし方は、人それぞれ異り多種多様だと思われれます。

しかし、何にも増して大事なことは、健康増進、健康管理のために時間を使うべきではないでしょうか。

それは、社会生活の複雑化、多様化に伴って、健康を阻害する要因も増加し、有病率、受療率などが上昇している事実が、現実起っているからです。

近代オリンピックの父、クーベルタンは、

「筋肉のたくましい体の中で、火のように燃える魂」と

スポーツ精神を表現しています。このことは、スポーツを実践することにより、体を鍛えることはもちろん、身体に宿る精神をも高めるこ

とになるということです。

藤沢市は、従来からスポーツを日常生活の中にとり入れるためスポーツ活動の場の整備をしてきました。こうした施設を利用し、少年からお年寄りまでが、サッカー、バレーテニス、ゲートボールなどに多く使われており、スポーツを通じて親睦交流がはかれることは、非常に大きな意義があることだと思えます。

二十一世紀を迎え、高令化社会が迫っている現在、生涯スポーツの実践として少年からお年寄りまでを対象とした生涯スポーツ活動プログラムの作成・多様なスポーツ要求に対応したスポーツ情報システムの整備・効果的なスポーツ実践のための健康体力相談の充実・などに更に力を入れていきたいと考えています。

スポーツは、健康増進と地域のコミュニティをはかる上でも大事な役割りを果しています。

こうしたスポーツ振興をはかる上で、指導者の養成、各種大会等の開催など、体育協会の方々に絶大な協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。藤沢市体育協会の発展を願っております。

藤沢市体育協会の発展を願っております。

の協会目種



初めて本格的な登山用具が発売され、テント、キスリング、冬山用の羽毛入り寝袋等が希望すれば手に入られる世の中になり、この頃から登山や、ハイキングが盛んになってまいりました。

第十回国民体育大会が昭和30年に神奈川県下で実施された時には、山岳競技は丹沢、塔の岳を会場としてタイムを記録する競技ではなく、参考種目として実施されました。何故ならば登山はただタイムを競争するのが目的ではなく、自分自身で体力テストをしたり、クラブ活動を通じて仲間の連帯を計り精神的な一帯感を育てる事により、その人の生き甲斐を再認識させるのに役立つと思うからです。

現在の藤沢市山岳協会は、片瀬の原田五郎氏(故人)が、後輩を多数育てたため、その人脈が今日に伝わっております。

第二次石油ショックにより日本経済は大波を受けていましたが、其の後、円高による苦難ものり切り、世

藤沢市山岳協会は、昭和20年藤沢市体育連盟の発足におくれる事三年昭和24年に発足したと聞いておりますので今年で四十周年となります。発足当初は登山スキー協会として運営していましたが、昭和30年に第十回国民体育大会が神奈川県下で実施されるのを機に、それぞれ分離して運営され今日に至っております。

また私達の協会は藤沢市体育協会に所属し社会教育機関として、登山の専門知識を持つ若い人達を中心に市民サービスとして登山競技の特性を生かし市民総合体育大会オープン競技を実施しております。

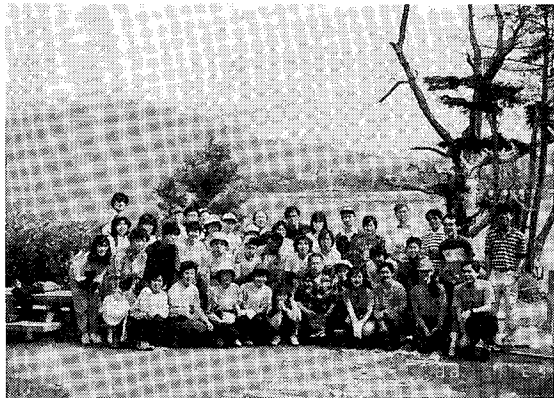
顧みまずと、昭和27年に朝鮮戦争が終り、米軍の資材が払下げになり、

和な日常生活を送るのが民主主義の具体化である、とのコンセンサスが一般化してまいりました。

現在は戦後の第三次登山ブームが到来したと言われています。この事は登山の大衆化・中高齢になってからの初心者の増加の現象となって山にはにぎわっています。私達はこの現実に対応して一般登山者の安全をはかるため、基本のマナーの普及、未組織登山者の組織への吸収をはかり仲間作りの輪を拡げる事により、平

〈市民ハイキング〉

昭和63年7月尾瀬沼の見える所で



穏な市民生活にアクセントをつける一端を担っております。

最近の協会活動については、昭和61年富士登山・昭和62年丹沢塔ノ岳昭和63年尾瀬ハイキングを実施し、今年には北八ヶ岳ハイキングを7月に予定しております。

今年の市民登山ハイキングにつきましては、5月上旬にへ広報ふじさわにより要綱を掲載しました。また私達の事務局ではパソコンを使って資料の保管整理、文書の発行をしていますから、市民登山に過去4年間参加された方々の名簿が保管されていますので、ダイレクトメールにより併せてその方々に御案内しました。御蔭様で募集予定人数となりました。

本年度の主な行事は、4月23日第9回神奈川県国体予選大会。6月4日第3回丹沢ボッカ駅伝競争大会、7月28日市民ハイキング(北八ヶ岳)9月16日全国登山体育大会広島県、11月3日県民ハイキング(丹沢)他を予定しています。

平成元年度山岳協会登録状況

6 山岳会

登録者数 176名(男女)

昭和63年度藤沢市体育協会事業実績報告書

月・日	事業名	月・日	事業名
63. 4. 27	第1回理事会 第1回評議員会	平成 1. 1. 18	体育協会表彰選考委員会 (第4回常任理事会)
5. 14	先進体協横浜市体育協会視察	2. 14	第4回理事会
6. 23	第1回常任理事会	18	第4回スポーツ人の集い 藤沢スポーツ賞受賞者 〔功勞者〕西島一光(陸上) 〔優秀選手〕橘川美紀(卓球) 増田健太郎(テニス) 谷澤英彦(テニス) 石井弘樹(テニス) 峯田貴宏(軟庭) 赤堀隆弘(軟庭)
7. 1	広報紙第9号発行		講演会 「世界のスポーツの流れ」 県体育協会副会長 馬飼野正治氏
15	第2回理事会		
8. 4~6	補助金交付		
26~29	国体関東ブロック大会	3. 24	第5回常任理事会
9. 4	藤沢市体力づくり運動推進功勞者表彰 井上晃一(軟庭) 西谷敏明(野球) 土屋宏治(陸上) 岩田明(ラクビー) 土屋小夜子(バレー) 山口武(テニス) 井上賢誠(柔道) 以上7名	31	広報紙第11号発行
21	第2回常任理事会		第43回藤沢市民総合体育大会総参加者数 10,685人 地区対抗競技参加者数 3,441人 オープン競技参加者数 7,244人 ★総合優勝 長後地区 第2位 滝の沢地区 第3位 天神地区
10. 1	藤沢市表彰条例に基づく表彰 服部忠幸(サッカー) 小泉勝彦(射撃) 尾崎樹仙(山岳) 稲垣智子(バレー) 以上4名		昭和63年度神奈川県総合体育大会 ◎一般の部 夏季大会 ソフトボール・軟式庭球・水泳 秋季大会 陸上・バレーボール・剣道・柔道・弓道・卓球 クレー射撃・軟式野球・バドミントン・バスケ ットボール・サッカー 冬季大会 スキー ★総合成績 参加26チーム中第7位
17. 19	第43回国民体育大会視察(京都府)		◎青年の部 バドミントン・バスケットボール・卓球・弓道 剣道・柔道・バレーボール・陸上
11. 3	藤沢市教育文化貢献者表彰 糸井勝治(柔道) 徳嶋秀明(スキー) 橋 薫(野球) 滝川一輝(陸上) 原 弘之(剣道) 以上5名		
15	広報紙第10号発行		
25	第3回常任理事会		
14	第3回理事会		

昭和63年度藤沢市体育協会収支決算報告書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増減	摘要
体協費	12,495,000	0	12,495,000	12,607,750	112,750	
体協費	12,495,000	0	12,495,000	12,607,750	112,750	
補助金	3,510,000	0	3,510,000	3,510,000	0	
委託料	6,520,000	0	6,520,000	6,520,000	0	
賛助会費	1,000,000	0	1,000,000	954,000	△ 46,000	個人 178日 団体 42日
負担金	1,005,000	0	1,005,000	1,022,500	17,500	
繰越金	449,014	0	449,014	449,014	0	前年度繰越金
雑収入	10,986	0	10,986	152,236	141,250	利息及び 販売収入

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	補正・流用額	予算現額	執行済額	執行残額	摘要
体協費	12,495,000	0	12,495,000	12,052,584	442,416	
運営費	12,495,000	0	12,495,000	12,052,584	442,416	
事務局費	1,789,000	0	1,789,000	1,701,500	87,500	
事業費	10,295,000	0	10,295,000	9,951,084	343,916	
積立金	400,000	0	400,000	400,000	0	積立金合計 2,007,582
予備費	11,000	0	11,000	0	11,000	

1. 収入の部	予算額	12,495,000円	決算額	12,607,750円
2. 支出の部	12,495,000円		12,052,584円	
3. 差引額			差引残額	555,166円

平成元年度 藤沢市体育協会事業計画書

月	主 催 事 業	他団体主催事業	月	主 催 事 業	他団体主催事業
4	12 市民総体 要項打合せ会議 25 理事会・評議員会		10	22 市民総体 空手	1 藤沢市条例に基づく 表彰 29～11/1 全国スポー ツレクリエーション 祭り(愛媛)
5	14 市民総体 ソフトボール予選 (6/18迄) 20 平塚市体育協会視察 賛助会募集開始		11	常任理事会 広報紙発行	3 教育文化貢献者表彰 12 市民ウォーク(予備19)
6	15 常任理事会 18 市民総体 野球予選(7/23迄)	県総体要項打合せ 23・24 日中ジュニア バレー	12	理事会 市民総体 16 ハンドボール (23・24)	3 市民駅伝大会
7	理事会 市民総体 9. バスケットボール (7/16・23) 16. 弓道 28. 山岳(7/30迄) 30. バレーボール予選		1	常任理事会 体育協会々長会 市民総体 27 スキー(1/28迄)	三浦半島駅伝 28 国体スケート(岩手)
8	13. バドミントン予選 19. テニス(9/10迄) 20. サッカー(9/9迄) 20. 体操 27. 射撃 27. 剣道 下旬までに要覧作成	17～20 国体関東ブロッ ク大会(宇都宮) 県総体 13・20 ソフトボール 20 軟庭 27 水泳 13 市水泳大会	3	常任理事会 広報紙発行	上旬 県総体スキー 11 市民スポーツフェス ティバル
9	3 常任理事会 市民総体本大会 陸上・卓球・軟庭 野球・バレー バドミントン ソフトボール 柔道・ラクビー 18～20 国体視察(札幌)	3 体力づくり功労者 表彰 3～6 国体夏季大会 (函館) 10・24 県総体秋季大会 17～22 国体秋季大会 (札幌)	<p>★その他</p> <p>12/10 秋葉台文化体育館開館記念 バスケットボール日本リーグ</p> <p>1/7 同上記念のバレーボール日本リーグ 本年度も上記のように事業を計画 しました。 昨年度にも増して、皆様方の御協 力を載き藤沢市体育協会がより一 層発展できますようお願いします、</p> 		

平成元年度 藤沢市体育協会収支予算書

1. 収入の部

項 目	予 算 額
体 協 費	12,580,000
体 協 費	12,580,000
補 助 金	3,510,000
委 託 料	6,495,000
賛 助 会 費	1,000,000
負 担 金	1,005,000
繰 越 金	555,166
雑 収 入	14,834

2. 支出の部

項 目	予 算 額
体 協 費	12,580,000
運 営 費	12,580,000
事 務 局 費	1,940,000
事 業 費	10,220,000
積 立 金	400,000
予 備 費	20,000

(単位 円)

監 事

理 事

常 任 理 事
副 理 事 長
理 事 長
副 会 長
会 長



藤田 正辰	大原 晴夫	大須賀光一 (体操)	服部 忠幸 (サッカー)	設楽 孝治 (ハンドボール)	尾崎 樹仙 (山岳)	岩田 明 (ラクビー)	岩淵 元 (テニス)	木村 英男 (空手道)	大縫 光宏 (ソフトボール)	野田 豊子 (バドミントン)	井上 吉男 (弓道)	今野 充雄 (スキー)	熱田 真一 (水泳)	金子 嗣 (バスケット)	川路 久男 (バレー)	藤田 正辰 (陸上)	伊東 満 (軟庭)	野村 啓介 (学識経験者)	久木田善蔵 (剣道)	桜井 浅之 (柔道)	山田 貢 (卓球)	小泉 勝彦 (射撃)	青山 俊夫 (野球)	関根 智治	西島 一光	柳川 賢	中山 二郎
-------	-------	---------------	-----------------	-------------------	---------------	----------------	---------------	----------------	-------------------	-------------------	---------------	----------------	---------------	-----------------	----------------	---------------	--------------	------------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	-------	-------	------	-------

平成元年度
新役員のご紹介